

～職場における女性の健康課題への対応について話し合ってみましょう～

日 時 令和6年10月9日(水) 13:30～14:30

会 場 山形産業保健総合支援センターWeb会議システム『Zoom』

対 象 保健師、看護職等の産業保健スタッフの方

講 師 山形産業保健総合支援センター 産業保健専門職 渋谷 伊世

定 員 20名(先着)

【研修のねらい】

女性にはライフステージによって様々な健康問題があり、うまく付き合っていくことが大切になりますが、職場での対応、配慮で悩むこともあるかと思います。

女性の健康問題についての課題や取り組みについて意見交換をしながら、女性の活躍を支える職場づくりについて考えてみましょう。また、男性の更年期障害などへの対応・配慮も検討して、より働きやすい職場づくりにつなげましょう。

【研修内容】

※参加者の事前の事例、情報提供をもとにした研修です。

- ・女性特有の健康問題・健康課題についてスライド・動画研修
- ・女性特有の健康問題への対応・配慮で工夫していることの共有
- ・女性特有の健康問題への対応・配慮の課題の共有
- ・男性の更年期障害などへの対応・配慮の共有

詳細・お申し込みはこちらから

<https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c6%e5%b9%b410%e6%9c%8>

○【事業所向け】【第176回産業メンタルヘルス研修会】(Web研修会)

「ハラスメント～研修講師の見聞録～」研修会

日 時 令和6年10月10日(木) 14:00～16:00

※山形産業保健総合支援センターから「Zoom」を用いて発信します。

対 象 人事労務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方

講 師 ワッツ・ビジョン 代表 笹崎 久美子 氏

定 員 40名(先着)

【研修のねらい】

多くのハラスメント研修を担当してきて見聞きしたことや個人的に感じたことを講師目線でざっくばらんに話します。

他の組織の取り組みや、事前・事後のアンケートから拾った気になるひとことなどもご紹介。

何かのヒントになれば幸いです。軽い気持ちで聴いてくださって構いません。肩の力を抜いて職場のマネジメントと一緒に考えてみませんか？

【研修内容】

- 1 ほとんどがセーフという現実、その伝え方
- 2 研修で感じる職場風土と本気度

- 3 答えられなかった質問
- 4 提訴のニュースはあっても判決のニュースがないのはなぜ
- 5 パワハラ社長だからできることもある？

※本研修会は、上記の内容に加え、厚生労働省から委託を受けた業者による「勤務間インターバル」の説明を15分程度含みます。あらかじめご了承ください。

詳細・お申込みはこちらから

<https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c6%e5%b9%b410%e6%9c%8>

★産業メンタルヘルス研修会は、毎月第二木曜日に開催しております。当センターホームページ「研修日カレンダー」から詳細をご確認の上、是非ご参加ください！

※当センターのWeb研修会の留意事項

- ・オンライン会議システム「Zoom」を使用します。研修会への参加自体は、ブラウザからのアクセスも可能ですが、アプリケーションソフト「Zoom」をダウンロードしてのご参加をお勧めします。
- ・参加申し込みは当センターホームページの専用フォームからお願いします。受講申込みの方には、研修開催前の1週間前後を目処に招待メールをお送りいたします。開催日3日前でも届かない場合やご不明な点がありましたら、お手数ですが当センターまでご連絡ください(事業場内での招待メールの転送はご遠慮ください)。
- ・カメラ・マイクなしのパソコンでも参加可能です。同一機関から複数名ご参加される場合は、一人ずつ別々にログインしていただくようお願いいたします。
- ・やむを得ず欠席される場合は、当日でも結構ですので当センターまでメールもしくは電話にてご連絡ください。

○その他関係機関主催のセミナー

【事業主・労務管理者向け】健康経営(未病)セミナー

日 時 令和6年11月19日(火)14:00~16:00(開場 13:30)

会 場 パレスグランデール(山形市)+Webオンライン(Zoom)

対 象 事業主・労務管理者

講 師 ミロク脳神経リハビリクリニック院長 齋藤 佑規 医師

定 員 会場 150名+オンライン配信 500名

【セミナー内容】

健診受診率は全国1位なのに、健康寿命は決して長くないのは、どうして？健診を受けさせるだけが事業主の義務ではありません。発病前の「未病」をいかに健康に近づけるのか？事業所にできることについて、専門的な見地からアドバイスいただきます。

詳細はこちらから

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/yamagata/cat070/r6seminar20240829/>

【介護スタッフ・管理者向け】安全衛生セミナー 「ノーリフトケア」で腰痛予防！

日 時 令和6年11月22日(金)14:00~16:00

特に労働者数50人未満の小規模事業場の皆様は、県内6か所の「地域産業保健センター」を是非ご活用ください。

<https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e3%80%8c%e8%81%b7%e5%a0%b4%e3%81%ae%e5%81%a5%e5%ba%b7%e8%a8%ba%e6%96%ad%e5%ae%9f%e6%96%>

◆「山形県の労働衛生2024年版」のご案内

当センターでは、山形労働局からご協力をいただき、山形県内の令和5年における健康診断実施結果状況及び業務上疾病の発生状況、令和5年度における脳・心臓疾患及び精神障害に係る労災補償状況の資料を作成しました。

こちらからダウンロード可能です。

<https://www.yamagatas.johas.go.jp/information/>

◆山形労働局からのお知らせ

○「やまがたゼロ災運動・2024」特設サイト

○令和6年 山形県内における労働災害発生状況・死亡災害一覧(令和6年8月末現在)

詳しくは当センターホームページからご確認ください。

<https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e3%80%8c%e3%82%84%e3%81%be%e3%81%8c%e3%81%9f%e3%82%bc%e3%83%ad%e7%81%bd%e9%81%8b%e5%8b%>

3/

○令和6年度「冬の労災をなくそう運動」について

例年、12月から3月頃までの冬期間には、凍結や積雪による転倒災害、墜落・転落災害、交通事故など冬期特有の労働災害(冬期型災害)が多発しています。これを防止するには、労働者自身の安全対策の実施はもとより、事業者自らが冬期型災害の防止に向けた安全方針を表明し、刻々と変化する自然環境に即応し、作業環境を整備することが重要です。

・スローガン 「見える化」と 転ばぬ意識と行動で みんなでなくそう 転倒災害

・実施期間 令和6年12月1日(日)から令和7年2月28日(金)

◆厚生労働省からのお知らせ

○労働安全衛生関係の一部の手続きの電子申請が義務化されます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001292236.pdf>

○石綿(アスベスト)の事前調査は施工業者(元請事業者)が必ず行う必要があります!

石綿総合情報ポータルサイト <https://www.ishiwata.mhlw.go.jp/>

リーフレット <https://www.ishiwata.mhlw.go.jp/pdf/leaflet-a4-r6.pdf>

☆☆

◇◇その他ご案内◇◇

○「提言:産業保健サービスを小規模事業場(従業員50人未満)へ提供するために
(公益社団法人日本産業衛生学会 政策法制度委員会)

当センターの菅原保産業保健相談員(医師)が委員を務めております。

https://www.sanei.or.jp/topics/recommendation/individual.html?entry_id=1387

○「母性健康管理研修会」(厚生労働省委託事業)

